

1. GLIM基準

GLIM基準とは、「低栄養」の診断基準で、2018年9月に発表されました。低栄養スクリーニングによるリスク判定と、表現型基準、病因型基準の評価によって低栄養を判定します。食事摂取不足による低栄養に加え、医療施設における疾患関連性低栄養も考慮されていることが特徴です。

2. GLIM基準を用いた低栄養診断

低栄養の診断方法

①栄養スクリーニング

検証済みのスクリーニングツールを用いて栄養スクリーニングを行い、栄養リスクのある患者を抽出。

②低栄養診断の確定

リスクありと判定された場合、GLIM基準を使用して、低栄養の有無を判定する。「表現型基準」と「病因型基準」の両項目から1つ以上に該当する場合、低栄養と診断。

③重症度判定

②で低栄養と診断された場合は、低栄養が重度か中等度か判断するため、重症度判定を行う。

結果を踏まえ、ひとりひとりに合わせて、栄養管理の計画を立案します

①栄養スクリーニング(MNA-SF, MUSTなど)

②低栄養診断の確定

表現型

意図しない体重減少

- 6か月以内に5%以上減少
- 6か月以上で10%以上減少

低BMI (アジア人)

- 18.5kg/m²未満 (70歳未満)
- 20.0kg/m²未満 (70歳以上)

筋肉量減少

- ※当院では下腿周囲長を使用
- 男性33.0cm未満
- 女性32.0cm未満

病因型

食事量減少/消化吸収機能低下

- 1週間以上必要栄養量の50%以下
- 食事摂取量低下が2週間以上
- 消化吸収障害や慢性的な消化器症状がある

疾患による炎症

- 急性疾患/外傷などの侵襲
- 慢性疾患

③重症度判定

体重減少

- 6か月以内で10%以上減少
- 6か月以上で20%以上減少

低BMI

- 18.5kg/m²未満 (70歳以上)
- 20.0kg/m²未満 (70歳以上)

筋肉量減少

- 男性30.0cm未満
- 女性29.0cm未満

栄養管理の計画を立案

GLIM基準についてご紹介しました。低栄養はリハビリに悪影響を与えます。回復期病院でも、低栄養対策が重要な課題となっており、医師・管理栄養士のほか看護師やリハビリスタッフが低栄養に関心を持ち、チームで低栄養の改善に取り組むことが必要となっています。通信を通してGLIM基準を理解し、低栄養に関心を持っていただくと幸いです。
食支援委員会 縄手(管理栄養士)

掲示許可シール
貼付スペース